

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市今泉運動場
2	指定管理者	陽光セントラル三井物産F共同事業体
3	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 平成30年度 77,722人 (前年度比78.4%) 平成29年度 99,188人 平成28年度 105,609人 平成27年度 115,573人 ※平成30年度は、今泉工場の定期点検整備(毎年実施、1月上旬～3月上旬)に加えて、今泉工場の基幹的設備改良工事(11月上旬～12月上旬に実施)があったため、温水プールが11月上旬～3月上旬まで約4か月休館した。
		《事業》 スポーツ教室 10講座 実績人員 432名 (スイミング教室, テニス教室, ヨガ教室, いきいき健康元気教室)
5	収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 57,278千円 (60,775千円) ・ その他市が負担した費用 8,358千円 (347千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 14,388千円 (16,130千円) ・ その他収入 118千円 (77千円)
6	利用者の声	《実施状況》 平成30年10月1日～21日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、平成30年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。	28/28
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を積極的に行い、市民のスポーツ振興に大きく寄与した。プールの運営については、利用者の安全性が確保されている。	4/4

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
なし	なし
加点評価	
—	

四 評価総括

《指定管理者（陽光セントラル三井物産F共同事業体）による自己評価》	
<p>お客様からの要望及び意見等を大切に、広く受け付ける為の「利用者ボイス」の設置、職員への定期的な各種研修の実施による高品質なサービスの提供に努めました。</p> <p>危機管理に関しては大規模な震災を想定した防災訓練、施設内での事故発生を想定した救命訓練等を定期的実施し不測の事態に備えることで、安全に利用いただける施設環境づくりに努めました。</p> <p>施設維持管理面においては、安全点検チェックシートを用いた点検を徹底し、故障や事故等に繋がる不具合の早期発見と予防修繕の実施により老朽化している施設の長寿命化に配慮した管理運営を心がけました。常時稼働している設備機器の運転状況を定期的に点検し、発見された不具合に対しては軽微なうちに修繕を実施することにより不具合が進行しないように配慮いたしました。</p> <p>温水プールに熱源となる蒸気を供給している今泉清掃工場の基幹改修工事及び例年実施されている定期メンテナンスにより温水プールが11月～3月中旬まで利用休止となり、指定管理者として施設窓口での案内や苦情への対応、掲示物及びホームページによる周知を出来る限り行い、ご理解いただけるよう努めました。この期間中にプール室パネルヒーターの更新、更衣室シャワーブース仕切りパネル改修及び床塗改修などを実施し、利用環境の向上に取り組みました。前年度に引続き、地域のニーズに対応する取り組みとして市内小中学校の夏休み期間中にプール供用開始時間を通常の10時から1時間早めて9時からとし、ご好評をいただきました。</p> <p>自主事業においても清掃工場基幹改修工事による長期休館の影響により会員の退会が多く見られましたが、休館となる11月以前については児童・成人スイミングスクールを実施し400名の方にご参加いただいております。他に庭球場での児童・成人テニススクール、休憩所でのヨガ教室などのプログラムを実施いたしました。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。</p> <p>施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。</p> <p>施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。</p> <p>サービスの質の向上については、様々なスポーツ教室を開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課